

## 日比谷公園でのSynecoculture™春の植栽実施のお知らせ

### 3年目を迎え、種苗の見直しや植栽方法の工夫を実施

ソニー銀行株式会社（代表取締役社長：南 啓二／本社：東京都千代田区／以下 ソニー銀行）は、都立日比谷公園（東京都千代田区／以下 日比谷公園）で取組んでいるSynecoculture（シネコカルチャー）の露地栽培法を活用した植栽を実施したので、お知らせします。

ソニー銀行では2024年より、生物多様性の増進を目的として、日比谷公園のカラーリーフガーデンで、耕起・施肥・農薬を必要としない農法Synecocultureを活用した花壇の整備に取り組んでいます。

2024年の取組開始以降、春と秋に植栽を行っており、3年目となる今回は、これまでの植栽活動の結果を踏まえて、気象条件を含む環境への適応性や、安定的に生育できるかといった観点から植栽する種苗の見直しを行うとともに、植え付けの際の環境構築の工夫を行いました。

また、社員が定期的にカラーリーフガーデンの管理や観察を行うことで、Synecocultureの特性を体感しながら生物多様性や生態系の重要性への理解を深めています。さらに、社内報で植物の成長状況や取組について発信することで、こうした学びを広く共有し、社員一人ひとりが生物多様性の価値や持続可能な社会への貢献について考える機会としています。

国内での取組に加え、海外での取組として2025年より、独立行政法人国際協力機構（JICA）が取組む開発途上国へのSynecocultureの導入を支援しています。2025年度はセネガルおよびカメルーンを対象に実証活動が行われており、土地劣化対策や農業生産の向上、生態系の回復に向けた取組が進められています。

ソニー銀行では、日比谷公園の協力のもと花壇の整備に引き続き取組むとともに、JICAへの支援を通じて今後も生物多様性の増進につながる活動を継続的に推進し、持続可能な社会への貢献を目指します。



ソニー銀行の社員による植栽の様子

Synecocultureの取組については、当社のウェブサイトをご覧ください。  
<https://sonybank.jp/corporate/sustainability/synecoculture.html>

以上

ソニー銀行では、銀行事業を通じた価値創出および価値創出のための基盤強化を通じた、SDGs（持続可能な開発目標）の達成への貢献も目指しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

本取組により主に貢献できるSDGsの目標



ソニー銀行のサイト | 企業案内 <https://sonybank.jp/corporate/>

ウェブサイト <https://sonybank.jp/>

ソニー銀行株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第578号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 日本STO協会

ソニー銀行株式会社 経営企画部 広報・サステナビリティ推進室

〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 Tel:03-6832-5903 E-mail:press@sonybank.co.jp

お問い合わせ先

ソニー銀行PR事務局 株式会社アンティル:三谷、深谷、宮野

〒107-0052 東京都港区赤坂四丁目15番1号 赤坂ガーデンシティ14階 Tel:03-5572-6081 E-mail:sonybank@vectorinc.co.jp